

【龍岡】小川・葛谷

(70) 小川の五輪塔



小川の小高い丘陵に六地蔵さんと五輪塔が10基ほどある。残欠を組み合わせたり、ばらばらになっているものもある。小ぶりなものが多いが、天神社の石塔群とともに中世石塔群として貴重である。花崗岩でできており、蒼社川の石で造つたものかも知れない。

湖畔の里の裏、御後川にかかる塞ノ神橋のたもとに大きなエノキがあり、その根本に道祖神が祀られている。道祖神は、もともとは悪靈をさえぎる神様として村境や峠に祀られていた。やがて、旅の道中を守る神・縁結び・子供の守護神・子授け・性の神など様々な性格をもつようになつた。

(71) 檻の大木と道祖神



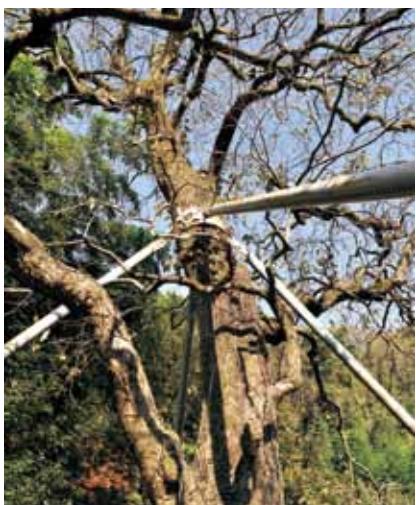
(73) へんど墓



無線中継所のすぐ下に小さな祠がある。お遍路でこの地に来た娘さんが地元の男と結婚の約束をしたが、それが叶わず、この辺りで道に迷い、雪の中で亡くなつたというお話を伝えられている。その娘さんを供養するためのお地蔵さんが建てられ、今まで元庄屋・服藤家の元庄屋・服藤家に残つている。樹齢は350年以上と言ふ。木の高さは20mを越える。老木ながら今も毎年実をつける。



(72) 無線中継所



(74) 服藤家の柿の木

今治藩は、各庄屋に木練柿となしの苗を1本ずつ植栽させたらしく、その時の柿の木が葛谷に残つている。樹齢は350年以上と言われ、木の高さは20mを越える。老木ながら今も毎年実をつける。